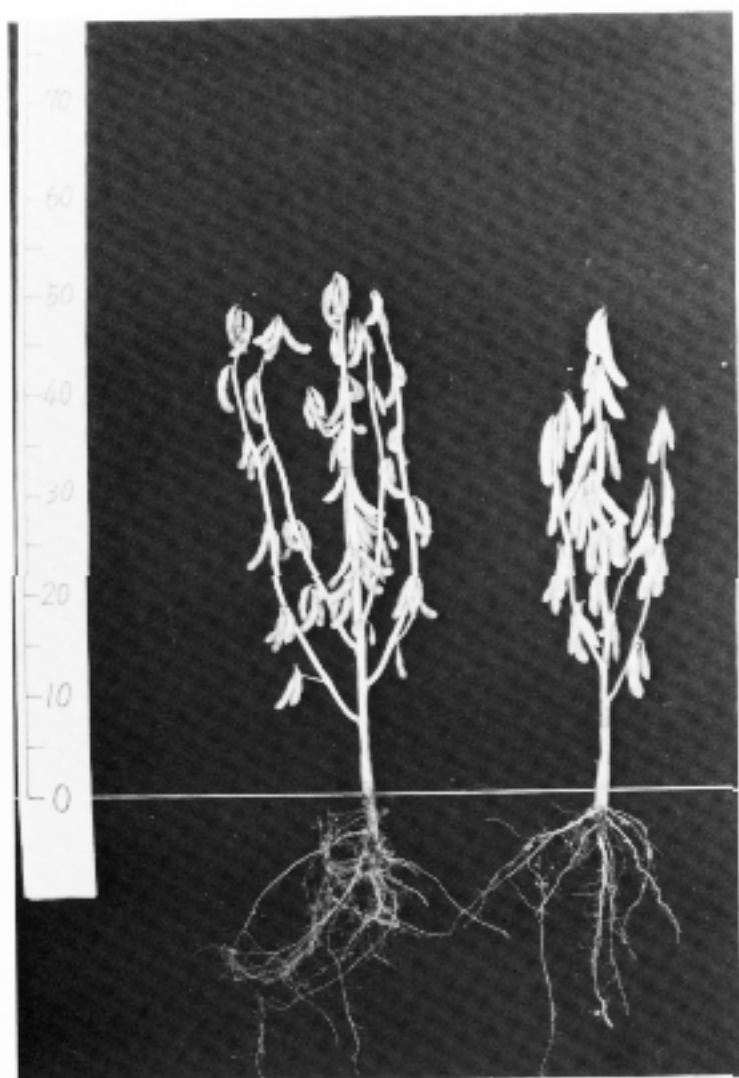
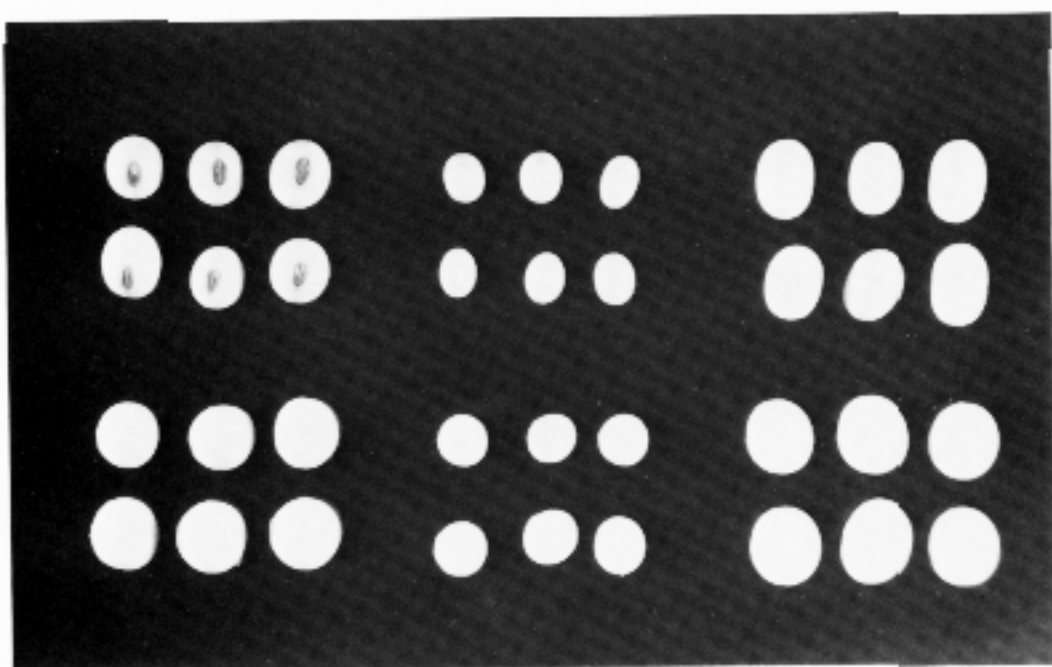


[スズヒメ]



スズヒメ

トヨスズ



キタムスメ

スズヒメ

トヨスズ

# スズヒメ

登録番号 大豆農林 71 号  
登録年月 昭和 55 年 6 月  
旧系統名 大豆十育 182 号  
育成場所 道立十勝農業試験場

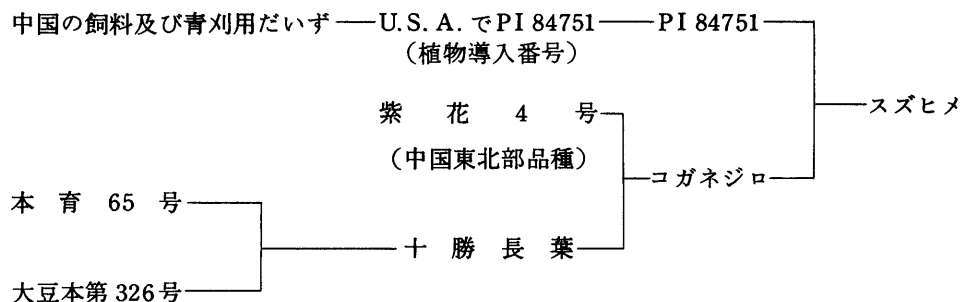
## 1. 来 歴

だいが「スズヒメ」は、昭和35年北海道立十勝農業試験場において、ダイズシストセンチュウ抵抗性品種の育成を目的として、「PI 84751 (U. S. A. より導入した中国の飼料及び青刈用だいが)」を母とし、「コガネジロ」を父として人工交配を行ない、F<sub>2</sub>以降、ダイズシストセンチュウ圃場で選抜固定を図ったものである。昭和43年 (F<sub>8</sub> 世代) までに、ダイズシストセンチュウに対し抵抗性をもち、種皮色・臍色ともに黄色で、中生の系統が選抜され、「十系 421 号」の番号が付されて、交配母本として利用されていた。

昭和50年より、納豆原料としての小粒大豆品種の育成を目標として、選抜が続行されることになり、昭和51年 (F<sub>16</sub> 世代)、「十系 421 号」の系統番号で、生産力検定予備試験を行い、昭和52年 (F<sub>17</sub> 世代) より、「十育 182 号」の系統名で生産力検定試験を行うと同時に、道内関係機関で奨励品種決定基本調査を行い、また、同年より同現地調査を実施した。

さらに、昭和51年よりダイズシストセンチュウ抵抗性検定、昭和52年よりマメシンクイガ耐虫性検定試験、栽培特性検定試験、低温処理試験、昭和54年にダイズわい化病抵抗性検定試験、耐裂莢性検定試験に供試した。昭和51年産種子より、納豆加工適性検定試験を実施したもので、昭和55年6月「大豆農林 71 号」に登録された品種である。

(系 統 図)



## 2. 形態的特性

主茎長は、「トヨスズ」よりやや長い。主茎節数は、11~12節で「トヨスズ」より1~2節多い。分枝数は、「トヨスズ」よりも多い。分枝は、基部で開張した後、直立し、主茎頂部の高さ程度まで伸長する。

葉形は長葉形であり、花色は赤紫、毛茸は白色、熟莢色は淡褐色を呈する。多莢型であり、やや分

枝にかたよって着莢する。一莢内粒数も2.4～2.5であり、「トヨスズ」より多い。莢の形は、普通形であるが、わん曲が大きい。子実は、やや扁球形であり、種皮色は黄色である。臍色はいわゆる白目であり、黄～極淡褐色を呈する。100粒重は13～15gであり、小粒の中に属する。粒は、やや不揃いであるが、外見的品質が良好である。

### 3. 生態的特性

初期生育は、「トヨスズ」より劣る。開花期は、「トヨスズ」より1～2日遅い。成熟期は、「トヨスズ」より4～5日早く、中生の早に属する。枯上りがよく、多莢型であることから、成熟期の外観が良好である。

耐倒伏性は、「トヨスズ」と同程度である。多肥、密植条件下では、「トヨスズ」より耐倒伏性が強い。マメシンクイガの被害は、「トヨスズ」と同様、耐虫性をもっていない。ダイズシストセンチュウに対する抵抗性は、「Peking」系の抵抗性因子をもち、「トヨスズ」より抵抗性は強く極強である。菌核病の被害は、「トヨスズ」同様に弱く、耐冷性も、「トヨスズ」並みである。裂莢性は、圃場立毛状態では、「トヨスズ」より裂莢しにくい。

収量性は、「トヨスズ」より、標準栽培では15%前後劣るが、密植することにより、標準栽培の「トヨスズ」並の収量性を示す。年次によってトヨスズ同様臍周辺の着色がみられ、品質が低下する場合がある。

子実の粗蛋白含量は、「トヨスズ」並み、粗脂肪含量は「トヨスズ」より、やや低い。

### 4. 適地

奨励品種決定基本調査、同現地調査の結果から、本品種は「トヨスズ」より早熟であるが、耐冷性にやや難点があり、夏季及び収穫・乾燥期の気象条件を総合的に考慮して、十勝中部及びこれに類似の地域に適する。

この地域の「トヨスズ」の一部におきかえる。

### 5. 奨励品種採用県

北海道（昭和55年）

### 6. 栽培上の注意

- (1) 対象品種「トヨスズ」に比べ、「トヨスズ」の栽植株数では低収となるので、密植栽培する。
- (2) 密植栽培によって、小粒化し納豆加工適性を高められる。
- (3) 密植栽培によって、ダイズ菌核病が多発しやすいので、防除を行うこと。
- (4) マメシンクイガ、ダイズわい化病に対し抵抗性をもっていないので、防除は従来の品種同様にを行うこと。
- (5) ダイズシストセンチュウに対して、「トヨスズ」より強度の抵抗性をもっているが、連作及び短期輪作は、さけること。
- (6) 初期生育が緩慢であるので、肥培管理などによって、初期生育の確保をはかること。

- (7) 刈取後の乾燥は、納豆加工適性をもたせるため、急激な人工乾燥をさけ、自然乾燥すること。
- (8) 生産した子実の撰別に留意し、莢雑物（とくに菌核等）を除去すること。
- (9) 均一な品質の納豆用だいを安定して供給するために、集団栽培することが好ましい。
- (10) その他の肥培管理は、一般既存品種に準じて行えばよい。

7. 育成地における試験成績（北海道立十勝農業試験場，芽室町）

(1) 特 性

品 種 名	胚軸色	小葉の形	毛茸色	花 色	熟莢色	粒 形	種皮色	臍 色	子実の 大きさ	伸育型
スズヒメ	紫	長 葉	白	赤 紫	淡 褐	やや扁球	黄	黄～極淡褐	小の中	有 限
トヨスズ	〃	円 葉	〃	〃	〃	〃	黄 白	〃	大の小	〃

(2) 生育及び収量調査

品種名	年 次	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	主 茎 節 数	分 枝 数	稔 実 莢 数	一 莢 内 粒 数	a 当たり収量 (kg)			100 粒 重 (g)	屑 粒 率 (%)	品 質
										全 重	子 実 重	対トヨ スズ比 (%)			
スズヒメ	昭 51	7.28	9.28	0	47	11.4	7.4	85.4	—	37.4	19.4	77	11.1	2.1	中上
	52	28	10. 2	0.3	33	10.9	3.8	43.3	2.52	25.2	15.1	76	15.2	0.5	中上
	53	20	9.22	0	52	12.5	6.3	112.6	2.39	49.1	28.9	78	13.3	0.3	上中
	54	25	24	0.6	47	12.1	7.5	97.7	2.48	47.5	28.6	89	12.5	1.1	上下
	平 均	7.25	9.27	0.2	45	11.7	6.3	84.8	2.46	39.8	23.0	80	13.0	1.0	上下
トヨスズ	昭 51	7.24	10. 6	0	45	10.5	5.6	48.9	—	46.8	25.3	100	30.0	0.3	中上
	52	24	10	0	31	10.0	3.4	36.5	1.98	34.0	19.9	100	31.4	0.4	上下
	53	15	6	0.1	55	11.0	3.8	70.2	1.93	68.9	37.2	100	33.0	0.7	上中
	54	21	9.30	0.1	45	10.8	5.2	58.1	1.95	56.6	32.0	100	33.3	0.9	上中
	平 均	7.21	10. 6	0.1	44	10.6	4.5	53.4	1.95	51.6	28.6	100	31.9	0.6	上下

注 倒伏程度は、つぎの基準による。0：無，1：少，2：中，3：多，4：甚

(3) 栽培特性検定試験成績（多肥・密植適応性検定）

品 種 名	施肥量	栽 植 密 度	主茎長 (cm)	主 茎 節 数	分枝数	倒 伏 程 度	稔実莢数	100粒 重 (g)	a 当たり収量 (kg)			対トヨ スズ比 (%)
									全 重	子実重	比 (%)	
スズヒメ	標 肥	標 準	53	12.6	6.5	0	102.8	13.0	48.1	28.2	100	95
		密 植	59	12.5	4.3	0.2	68.3	12.0	55.0	31.3	111	96
		多 肥	66	12.6	4.5	0.3	68.2	12.3	55.9	29.8	106	96
トヨスズ	標 肥	標 準	53	11.2	4.3	1.5	59.3	32.6	58.6	29.7	100	100
		密 植	66	11.0	2.9	1.9	37.7	32.6	63.1	32.5	109	100
		多 肥	59	11.2	4.6	2.8	58.0	32.5	59.1	31.1	105	100
		密 植 値	69	11.1	3.1	2.8	39.5	33.5	65.6	30.9	104	100

- 注 1. 昭和53，54年の2カ年平均
- 2. 施肥量 (kg/a) ……標肥：N；0.15，P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>；1.45，K<sub>2</sub>O；0.50  
多肥：各要素とも標肥の2倍
- 3. 栽植密度……標準：60cm×20cm 2本立，密植：60cm×10cm 2本立

(4) ダイズシストセンチュウ抵抗性育成系統生産力検定予備試験

品 種 名	根部調査結果（着生指数）				抵 抗 性 判 定	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	主 茎 長 (cm)	稔 実 莢 数	a 当たり収量 (kg)			100 粒 重 (g)	備 考
	7月中旬		8月中旬							全 重	子 実 重	対トヨ スズ比 (%)		
	シスト	根 粒	シスト	根 粒										
スズヒメ	0	46	0	80	◎	7.27	9.28	48	71.6	35.9	20.0	97	11.9	昭50
トヨスズ	58	48	53	76	○	7.23	10. 6	38	40.9	37.0	20.7	100	30.5	～54

抵抗性判定 ◎：Peking並みの抵抗性，○：下田不知1号並みの抵抗性

(5) 子実の成分(無水物中%)

項目	粗蛋白質	粗脂肪	備考
品種名			
スズヒメ	36.0	17.9	3カ年平均
トヨスズ	37.5	18.6	昭52~54

注 分析方法

粗タンパク：マイクロケルダール法  
全窒素×5.71  
粗脂肪：ケン化法(新田式改良法)

(6) マメシクイガ耐虫性特性検定試験成績

(虫食率, 粒数%)

項目	促進区	標準区	晩播区	備考
品種名				
スズヒメ	10.6	16.1	14.8	播種日 促進区：4月28日 標準区：5月14~15日 晩播区：6月15日
トヨスズ	12.8	23.6	17.4	

注 実施場所 北海道立中央農業試験場原々種農場(滝川市)

(7) ダイズシストセンチュウ抵抗性

農林水産省北海道農業試験場 病虫部 虫害第2研究室(札幌市)(昭和43年)

……根部のシスト着生数(個体当たり)

品 種 名	7月4日	7月18日	7月29日	8月14日	9月1日	平 均
スズヒメ	0	0	0	1	1	0.4
PI 84751	0	1	0	1	3	1.0
コガネジロ	124	41	29	78	39	62.2
トヨスズ	108	41	20	82	240	98.2
Pickett	5	3	1	2	1	2.4

注 供試シストセンチュウ：芽室町高岩のシストセンチュウ高密度生息土壌(単位：個体当り着生数)

(8) 耐 冷 性

低温条件下における稔実と子実の肥大

開花期の低温処理による収量構成要素(昭和52~54年度)

品 種 名	年 次	稔 実 莢 数	1 莢 内 粒 数	100粒重(g)	子 実 重 (g/個体)
スズヒメ	昭52	25.2(118)	1.83(81)	11.1(96)	7.7(97)
	53	31.5(64)	1.75(71)	17.4(144)	9.5(65)
	54	25.8(47)	1.38(60)	13.9(113)	4.9(31)
	平均	(76)	(71)	(118)	(64)
トヨスズ	昭52	13.6(69)	1.71(90)	28.3(110)	9.7(68)
	53	29.6(63)	1.74(87)	33.7(118)	17.3(65)
	54	19.8(52)	1.36(67)	27.4(101)	7.4(36)
	平均	(61)	(81)	(110)	(56)
キタムスメ	昭52	19.6(93)	1.36(85)	26.4(105)	10.9(85)
	53	35.9(74)	1.55(79)	30.9(121)	17.1(70)
	54	28.3(77)	1.64(92)	28.6(113)	13.3(81)
	平均	(81)	(85)	(113)	(79)

注) 低温処理は、  
昭和52年度…開花始から18日間、13(夜)、18(昼)℃  
昭和53年度…開花始から20日間、13(夜)、18(昼)℃  
昭和54年度…開花始から20日間、13(夜)、18(昼)℃で、  
行った。  
( )内は、無処理に対する比。

(9) 納豆加工適性試験

適性試験(農林水産省食品

総合研究所)

品 種 名	生産年次	吸水率(%)	溶出固形分(%)	煮豆のかたさ(g)	煮豆の色調Y値(明るさ)
スズヒメ	昭52	130	0.40	230	24.4
	53	150	0.40	240	25.6
	54	150	0.30	226	24.2
トヨスズ	昭53	140	0.40	296	29.7
	54	130	0.40	320	30.2
地塚(茨城産)	昭54	120	0.70	245	23.5

製品納豆の鑑評成績(全国納豆組合連合会)

品種名	試験年次	外観	香り	色調	ねばり	口あたり(硬さ)	うまみ	総合評価
スズヒメ	昭52	8.1	8.1	8.1	8.4	7.8	8.0	8.3
	53	7.8	7.8	7.8	8.4	8.4	7.9	7.8
トヨスズ	昭52	8.0	7.7	8.0	8.0	7.5	7.6	7.8
	53	7.3	7.6	7.1	7.5	6.7	7.4	6.1
地塚	昭52	7.1	7.5	7.1	7.9	7.7	7.5	7.7
	53	6.5	6.9	6.1	6.7	7.0	7.0	6.7

注 審査員は、全納連選出の昭52：20名、昭53：24名  
鑑評は、10点法で採点した平均値。

8. 配布先における試験成績（奨励品種決定基本調査）

(1) 北海道立上川農業試験場（士別市）

品 種 名	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	主 茎 節 数	分 枝 数	稈 実 莢 数	a 当 たり 収 量 (kg)			100 粒 重 (g)	屑 粒 率 (%)	品 質	備 考
								全 重	子 実 重	比 (%)				
スズヒメ	7.20	9.20	1.5	55	13.4	6.3	107.8	47.2	25.0	82	11.4	0.8	中 下	昭 52 ~ 54
キタコマチ	7.13	9.19	1.6	57	11.7	5.4	67.5	57.6	30.5	100	28.1	0.9	中 上	
トヨスズ	7.15	9.29	1.3	51	11.0	3.6	62.9	59.4	30.5	100	30.1	1.1	中 上	

(2) 北海道立中央農業試験場原々種農場（滝川市）

品 種 名	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	主 茎 節 数	分 枝 数	稈 実 莢 数	a 当 たり 収 量 (kg)			100 粒 重 (g)	屑 粒 率 (%)	品 質	備 考
								全 重	子 実 重	比 (%)				
スズヒメ	7.18	9.16	0	41	—	6.0	93.2	40.1	22.5	95	12.7	0	中 上	昭 52 ~ 54
ユウヒメ	7.18	9.19	0	48	—	7.0	56.2	46.1	23.7	100	31.5	0	上 下	
トヨスズ	7.15	9.27	0	40	—	5.0	65.4	54.6	29.7	125	29.3	0	中 上	

(3) 北海道立北見農業試験場（訓子府町）

品 種 名	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	主 茎 節 数	分 枝 数	稈 実 莢 数	a 当 たり 収 量 (kg)			100 粒 重 (g)	屑 粒 率 (%)	品 質	備 考
								全 重	子 実 重	比 (%)				
スズヒメ	7.26	9.28	0.9	59	13.2	6.5	113	48.9	24.3	76	12.1	0.9	中 上	昭 53 ~ 54
ヒメユタカ	7.24	10.1	0.5	77	13.0	4.5	70	65.9	32.1	100	32.0	0.3	中 上	
トヨスズ	7.20	10.6	0.5	58	10.8	4.2	67	65.8	29.6	92	30.7	0.7	中 中	

(4) 北海道立中央農業試験場（長沼町）

品 種 名	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	主 茎 節 数	分 枝 数	稈 実 莢 数	a 当 たり 収 量 (kg)			100 粒 重 (g)	屑 粒 率 (%)	品 質	備 考
								全 重	子 実 重	比 (%)				
スズヒメ	7.22	9.24	0.3	43	12.0	3.8	82.9	43.5	25.4	71	14.1	1.0	上 下	昭 52 ~ 54
ユウヒメ	7.22	9.30	1.2	49	12.3	5.9	69.0	66.2	35.9	100	40.4	2.7	上 中	
トヨスズ	7.19	10.1	0.8	39	10.2	3.7	53.1	53.6	28.1	78	31.9	1.3	上 中	

9. 現地における試験成績（奨励品種決定現地調査等）

地 域 区 分	市 町 村 名	品 種 名	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	分 枝 数	稈 実 莢 数	a 当 たり 収 量 (kg)			100 粒 重 (g)	屑 粒 率 (%)	品 質	備 考
									全 重	子 実 重	比 (%)				
十 勝 中 部	幕 別 町	スズヒメ	7.29	9.28	0	66	6.0	128.8	58.6	31.2	102	12.2	1.8	上 下	昭 52 ~ 54
		トヨスズ	7.26	10.3	0.3	59	4.2	66.8	67.1	30.7	100	30.7	1.4	上 下	
本 別 町	スズヒメ	7.25	9.28	0.2	55	7.0	124.2	54.2	28.5	98	13.6	2.3	上 下		
	トヨスズ	7.20	10.5	0.7	48	4.5	79.1	58.2	29.0	100	30.6	1.6	上 中		
十 勝 山 麓	新 得 町	スズヒメ	7.25	9.29	0.8	52	6.5	90.4	44.6	22.4	98	13.5	4.9	上 下	昭 52 ~ 54
		トヨスズ	7.25	10.10	0	50	5.1	53.5	55.7	22.8	100	31.1	6.8	上 下	
	上 幌 士 町	スズヒメ	7.29	10.2	0	48	5.7	92.9	43.4	22.4	89	13.6	3.8	中 上	
		トヨスズ	7.28	10.9	0	46	4.9	56.9	52.6	25.1	100	31.1	4.0	中 上	
鹿 追 町	スズヒメ	7.24	9.26	1.2	54	5.4	98.6	50.2	24.6	102	14.2	7.8	上 下		
	トヨスズ	7.23	10.8	0.3	51	4.1	57.5	65.9	24.2	100	33.1	3.8	上 下		

地域区分	市町村名	品 種 名	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	倒 伏 程 度	主 茎 長 (cm)	分 枝 数	稔 実 莢 数	a 当 たり 収 量 (kg)			100 粒 重 (g)	屑 粒 率 (%)	品 質	備 考
									全 重	子 実 重	比 (%)				
十勝	豊頃町	スズヒメ	7.28	10. 1	0.9	58	8.2	148.2	56.8	28.6	95	12.3	0.7	上下	昭 52 / 54
		トヨスズ	7.24	10. 6	0	51	5.9	75.6	63.1	30.0	100	29.6	1.7	上下	
沿海	大樹町	スズヒメ	7.30	10. 2	0	49	7.0	82.6	34.5	16.7	81	12.8	1.5	上下	52
		トヨスズ	7.26	10.12	0	45	3.7	46.0	47.0	20.7	100	30.5	0.7	上下	
道央北部	剣淵町	スズヒメ	7.14	9.21	1	66	9.8	159.4	70.9	36.5	99	14.2	34.5	上下	53
			.29	.14	0.3	42	5.4	49.5	25.0	11.0	145	10.2	2.2	中下	
		キタコマチ	7. 9	9.24	0.5	61	7.9	86.7	78.3	36.8	100	33.6	38.6	上中	53
			.27	.12	0.5	47	3.8	23.7	19.7	7.6	100	21.6	4.0	中下	
道北	幌加内町	スズヒメ	7.26	9.26		50	6.0	125.5	50.1	25.8	96	11.5	2.0	上下	53 / 54
		キタコマチ	7.23	9.24		51	6.2	88.1	60.4	26.8	100	26.6	2.8	上中	
		トヨスズ	7.19	10. 5	-	45	5.6	95.2	77.2	29.8	97	31.0	1.9	上上	
道央中部	滝川市	スズヒメ	7.22	9.22	0	50	7.8	138.7	62.5	33.1	105	14.2	3.7	上下	53 / 54
		トヨスズ	7.20	10. 2	0	48	5.6	92.5	64.2	31.5	100	30.6	2.5	上下	
		ユウヒメ	7.16	9.25	0	55	6.6	61.8	67.2	29.9	104	38.1	3.2	上下	
	深川市	スズヒメ	7.19	9.26	0	59	5.8	134.5	62.9	28.9	90	13.7	1.4	上下	53 / 54
		ユウヒメ	7.20	10. 3	0	74	4.6	73.8	86.8	32.2	100	43.5	3.6	上下	
		トヨスズ	7.16	10. 3	0	57	4.4	85.2	88.0	34.3	107	33.6	2.4	上下	
道央羊蹄山麓	倶知安町	スズヒメ	7.25	9.19	0.3	53	4.0	85.5	47.2	25.7	102	12.7	4.3	上下	53 / 54
		ユウヒメ	7.26	9.26	1.5	65	6.6	58.0	55.9	25.1	100	36.1	4.3	上中	
		トヨスズ	7.25	9.30	1.0	59	4.3	59.5	57.2	25.5	102	30.5	2.7	上中	
	真狩町	スズヒメ	7.27	9.27		59	7.0	143.2	57.2	31.6	86	15.0	6.5	-	53 / 54
		ユウヒメ	7.29	10. 1		65	7.7	71.0	75.0	36.7	100	41.5	9.3	-	
		トヨスズ	7.22	9.29		58	6.2	106.5	71.9	32.7	89	33.8	4.3	-	
網走内陸	津別町	スズヒメ	7.23	9.21	0	55	6.6	108.6	49.7	28.1	86	12.4	3.3	中上	53 / 54
		ヒメユタカ	7.20	9.28	1.0	72	5.6	67.1	63.3	32.8	100	33.4	5.2	上下	
		トヨスズ	7.19	9.29	0	47	5.5	66.6	48.2	26.7	91	29.3	4.0	中下	
網走沿海	斜里町	スズヒメ	7.28	9.19	1.5	62	9.1	111.7	49.9	26.7	84	12.1	0.2	上中	53 / 54
		ヒメユタカ	7.25	9.27	0.5	74	7.8	64.9	61.1	31.8	100	33.1	1.4	上中	

注 \* : 大樹町の開花期は、開花始である。

昭和54年の剣淵町は、干魃の影響により低収。昭和53、54年の気象条件が大きく異っていたので、両年の平均値は示さなかった。

## 10. 育成従事者

年次	世代	育 成 従 事 者										備 考			
昭35	交 配	後藤 寛治	山崎 一彦	砂田喜与志	藤盛 郁夫										
36	F <sub>1</sub>	''	''	''	''	赤城 仰哉	成河 智明	佐々木紘一	三分一 敬						
37	F <sub>2</sub>	''	''	''	''	''	''	''	''						個体選抜
38	F <sub>3</sub>	''	砂田喜与志	藤盛 郁夫	赤城 仰哉	成河 智明	佐々木紘一	三分一 敬	谷村 吉光						系統選抜
39	F <sub>4</sub>	''	''	''	''	''	''	''	''						''
40	F <sub>5</sub>	斉藤 正隆	''	成河 智明	佐々木紘一	三分一 敬	谷村 吉光	酒井 真次							生 予
41	F <sub>6</sub>	''	''	''	''	''	''	''	土屋 武彦						''
42	F <sub>7</sub>	''	佐々木紘一	三分一 敬	酒井 真次	土屋 武彦									''
43	F <sub>8</sub>	''	''	''	''	''									''
44	F <sub>9</sub>	''	''	''	''	''									集団採種
45	F <sub>10</sub>	''	''	''	''	''									''
46	F <sub>11</sub>	''	''	''	''	''									''
47	F <sub>12</sub>	''	''	''	''	''									''
48	F <sub>13</sub>	砂田喜与志	''	''	''	''									''

年次	世 代	育 成 従 事 者	備 考
49	F <sub>14</sub>	砂田喜与志 佐々木紘一 三分一 敬 酒井 真次 土屋 武彦	集団採種
50	F <sub>15</sub>	" " " " "	選抜続行
51	F <sub>16</sub>	" " " " "	生 子
52	F <sub>17</sub>	" 三分一 敬 酒井 真次 土屋 武彦 紙谷 元一	地方番号命名
53	F <sub>18</sub>	" " " " "	
54	F <sub>19</sub>	" " " " "	新品種命名